

健康福祉部

国民健康保険課

福祉医療費

1. 心身障害者医療費の助成

心身障害者の疾病・負傷に対して、医療費の自己負担額を助成することにより、心身障害者の保健と福祉の向上に努めた。

・補助対象分 65歳未満一般障害者(老健該当者以外分)

	年度末受給 対象者数	自己負担 助成額	標準負担 助成額	証明書料	支払額
支出額	人 586	円 62,628,982	円 2,006,390	円 2,025,400	円 66,660,772
18年度 支出額	577	57,499,903	1,673,320	1,791,000	60,964,223

(老健該当者分)

	年度末受給 対象者数	自己負担 助成額	標準負担 助成額	支払額
支出額	人 996	円 69,766,043	円 1,021,770	円 70,787,813
18年度 支出額	947	64,084,271	1,860,140	65,944,411

2. 一人親家庭等医療費の助成

一人親家庭等の父・母及び児童の疾病・負傷に対して、医療費の自己負担額を助成することにより、一人親家庭等の保健と福祉の向上に努めた。

・補助対象分

	年度末受給 対象者数	自己負担 助成額	標準負担 助成額	証明書料	支払額
支出額	人 1,695	円 35,665,532	円 57,750	円 3,145,200	円 38,868,482
18年度 支出額	1,697	35,873,276	0	3,182,000	39,055,276

3. 乳幼児医療費の助成

乳幼児(義務教育就学前まで、ただし4歳以上は入院のみ)の疾病・負傷に対して、医療費の自己負担額を助成することにより、乳幼児の保健と福祉の向上に努めた。

・補助対象分 4歳未満

	年度末受給 対象者数	自己負担 助成額	標準負担 助成額	証明書料	支払額
支出額	人 1,371	円 40,533,993	円 0	円 4,280,000	円 44,813,993
18年度 支出額	1,403	41,940,145	0	4,466,400	46,406,545

・補助対象分 4歳～義務教育就学前(入院)

	年度未受給 対象者数	自己負担 助成額	標準負担 助成額	支払額
支出額	人 3	円 1,681,887	円 0	円 1,681,887
18年度 支出額	1	728,862	0	728,862

健康推進課

<総合保健センター>

(1)結核予防事業

(ア)予防接種 生後6か月未満児等を対象に接種 BCG・・・360人

(イ)胸部X線検査(間接撮影)・・・(65歳以上) 1,503人

(2)予防接種事業

種 類		接種者数(人)	種 類		接種者数(人)
D P T	1 期	1,140	M R	期	363
	1期追加	341		期	417
D T		426	日本脳炎	初 回	1,126
ポ リ オ		691		追 加	220
麻 し ん		0		小 4	145
風 し ん		2	インフルエンザ		10,144

(3)献血事業

献血者数 400ml献血・・・512人 成分献血・・・50人

(4)老人保健事業

(ア)健康手帳の交付

医療対象者分・・・0冊 医療対象者以外分・・・361冊

(イ)健康診査

健診種類	対象年齢	受診者数(人)		
		個別	集団	合計
基本健康診査	40歳以上	5,800	458	6,258
肝炎ウイルス検診	40歳以上	434	83	517
胃がん検診	40歳以上	1,482	520	2,002
子宮がん検診	20歳以上		534	534
乳がん検診	40歳以上		964	964

肺がん検診	40歳以上		2,057	2,057
大腸がん検診	40歳以上	2,399	986	3,385
前立腺がん検診	50歳～69歳	393	48	441
歯周疾患検診	40・50・60・70歳	12		12

(ウ)健康相談

- ・定期健康相談・・・48回 来所者(延べ) 417人
- ・老人会健康相談・・・7回 来所者(延べ) 141人
- ・自治会健康相談(神明)・・・1回 来所者 26人
- ・随時相談・・・(延べ) 4人
- ・電話相談・・・(延べ) 50件

(エ)健康教育

- ・個別健康教育(高脂血症改善)・・・参加者(実) 4人
(オリエンテーション:1回、面接:5回、血液検査:4回、支援レター:2回)
- ・老人会健康教育・・・3回 参加者(延べ) 205人

(オ)食生活改善事業

- ・食生活改善推進員の養成
栄養教室・・・6回 参加者(延べ) 88人
食生活改善推進協議会補助金・・・330,000円
- ・市民を対象に、食生活改善のための料理講習を、食生活改善推進協議会に委託し実施した。
食生活改善推進協議会委託料・・・130,000円
親子ふれあい料理教室、男性クッキング、いきいき(高齢者)教室、地区伝達料理講習会
料理教室の実施材料費については国保会計に計上のため、実績は国保会計に掲載

(5)母子保健事業

《妊産婦》

- (ア)母子健康手帳の交付(再交付含む)・・・211冊
- (イ)妊婦健康相談(母子手帳交付時、転入者含む)・・・(延べ) 193人
- (ウ)妊婦健康診査 前期・・・333人 後期・・・314人

《乳幼児》

- (ア)乳児健康診査 4か月児健診・・・352人 10か月児健診・・・309人
- (イ)1歳6か月児健康診査・・・12回 受診者 336人
- (ウ)3歳児健康診査・・・・・・・12回 受診者 405人

(エ)健康相談

- ・乳幼児健康相談・・・37回 来所者(延べ) 634人
- ・随時相談・・・(延べ) 43人
- ・電話相談・・・(延べ) 228件

(オ)訪問指導

- ・第1子訪問・・・75人
- ・家庭訪問(フォロー児)・・・(延べ) 43人

(カ)フォロー教室・・・18回 参加者(延べ)300人

(キ)頑張る地方応援プログラム

- ・女性セミナー・・・ 2回 参加者(延べ) 88人
- ・アロマセラピー・・・2回 参加者(延べ) 48人
- ・妊婦セミナー・・・ 1回 参加者 23人
- ・産婦セミナー・・・ 1回 参加者 18人

(6)精神保健福祉事業

(ア)障害者手帳・自立支援医療費申請

- ・障害者手帳・・・(延べ) 143件
- ・自立支援医療費申請・・・(延べ) 591件

(イ)障害者自立支援事業

- ・障害程度区分認定審査会・・・12回 13件
- ・障害者自立支援福祉サービス受給者・・・(実) 12人
 - 居宅介護・・・7人 生活介護・・・1人 就労移行支援・・・1人
 - 短期入所・・・2人 共同生活介護・・・4人 就労継続支援B型・・・3人
 - 共同生活援助・・・3人 旧知的通所授産施設(相互利用)・・・3人

(ウ)地域生活支援事業移動支援・・・1人

(エ)精神保健福祉相談

- ・相談及び所内面接・・・来所者(延べ) 343人
- ・電話相談・・・(延べ) 303件

(オ)精神訪問指導・・・(延べ) 47人

(カ)精神障害者デイケア事業・・・11回 参加者(延べ) 49人

(キ)精神障害者デイケア交流会・・・2回 参加者(延べ) 1人

(ク)精神障害者共同(小規模)作業所運営費補助事業

志摩市と鳥羽市が精神障害者共同(小規模)作業所「ふれあい工房」へ運営費の補助をした。

精神障害者小規模作業所運営補助金・・・4,411,000円

(内、志摩市負担分 2,050,300円)

(7)一次救急医療体制事業

(ア)救急医療の体制について、志摩市と鳥羽市が志摩医師会に委託し、医師会により調整会議の開催、普及啓発を実施した。

一次救急医療体制事業委託料・・・1,700,000円

(内、志摩市負担分 1,231,400円)

(イ)志摩市休日応急診療業務

日曜日・祝祭日・年末年始、午前8時30分～午後5時15分まで、県立志摩病院救急外来において、志摩医師会委託のもと実施した。

救急休日診療業務委託料・・・3,610,000円

(ウ)志摩市小児休日応急診療業務

毎月第2・第4日曜日、午前10時～午後0時まで、県立志摩病院救急外来において、志摩医師会委託のもと実施した。

小児休日診療業務委託料・・・1,457,560円

(エ)志摩地域休日診療電子カルテ代行入力業務

県立志摩病院が平成19年9月に電子カルテ・オーダリングシステムを導入したことにより、休日応急診療分についても代行入力が必要となり、県病院事業庁に業務委託した。

志摩地域休日診療電子カルテ代行入力業務委託料・・・775,000円

(内、小児科分 59,000円 小児科以外分 716,000円)

(8)志摩市健康増進計画「健康志摩21」策定事業

健康寿命(健康でいきいきとした生活を送る期間)の延伸をめざし、すべての市民が「健康づくり」に主体的に取り組めるよう健康づくりの目標を設定し、具体的な行動計画を市民との協働により「健康志摩21」として策定した。

健康増進計画策定業務委託料・・・1,924,650円

(ア)健康志摩21策定委員会・・・2回 (延べ) 29人

(イ)健康志摩21市民ワーキング会議・・・8回 (延べ) 190人

(ウ)健康志摩21計画報告会・・・1回 175人

(9)阿児健康増進センター事業

平成18年度から指定管理者制度を導入し、株式会社スポーツマックスに管理運営を委託した。

健康増進センター指定管理業務委託料・・・32,583,000円

(ア)会員数(3月31日現在)

スポーツクラブ・・・477人 スイミングスクール・・・424人 計 901人

(イ)利用者数

一般・登録会員・・・47,773人 スクール会員・・・12,443人 計 60,216人

(ウ)夏休み子供短期水泳教室・・・5日間 参加者(実) 99人

3歳児～小学生を対象に水慣れから4泳法を指導

<浜島保健センター>

(1)老人保健事業

(ア)健康手帳の交付 医療対象者分・・・10冊 医療対象者以外分・・・43冊

(イ)健康相談

・定期健康相談・・・57回 来所者(延べ) 400人

- ・随時相談・・・(延べ) 47人
- ・電話相談・・・(延べ) 20件
- (ウ)訪問指導・・・(延べ) 22人
- (エ)老人保健会議・・・3回 参加者(延べ) 39人
- (2)母子保健事業
 - 《妊産婦》
 - (ア)母子健康手帳の交付・・・15冊
 - (イ)妊産婦健康相談(母子手帳交付時、転入者含む)・・・(延べ) 24人
 - (ウ)訪問指導・・・(延べ) 6人
 - (エ)電話相談・・・(延べ) 2件
 - 《乳幼児》
 - (ア)健康相談
 - ・乳幼児健康相談・・・24回 来所者(延べ) 46人
 - ・随時相談・・・(延べ) 19人
 - ・電話相談・・・(延べ) 23件
 - (イ)訪問指導
 - ・第1子訪問・・・(延べ) 7人
 - ・家庭訪問(フォロー児)・・・(延べ) 29人
 - (ウ)乳幼児むし歯予防教室・・・1回 参加者 28人
 - (エ)母子保健会議・・・10回 参加者(延べ) 76人
- (3)精神保健福祉事業
 - (ア)精神保健福祉相談
 - ・相談及び所内面接・・・来所者(延べ) 29人
 - ・電話相談・・・(延べ) 45件
 - (イ)精神訪問指導・・・(延べ) 30人

< 大王保健センター >

- (1)老人保健事業費
 - (ア)健康手帳の交付 医療対象者分・・・0冊 医療対象者以外分・・・71冊
 - (イ)健康相談
 - ・定期健康相談・・・48回 来所者(延べ) 447人
 - ・健診後フォロー相談・・・7人
 - (ウ)健康教育
 - ・個別健康教育(高脂血症改善)・・・参加者(実) 2人
(オリエンテーション:1回、面接:5回、血液検査:4回、支援レター:2回)
- (2)母子保健事業
 - 《妊産婦》
 - (ア)母子健康手帳の交付・・・33冊

(イ)妊婦健康相談(母子手帳交付時、転入者含む)・・・(延べ) 33人

(ウ)訪問指導・・・(延べ) 27人

《乳幼児》

(ア)健康相談

・乳幼児健康相談・・・36回 来所者(延べ) 174人

・随時相談・・・(延べ) 13人

・電話相談・・・(延べ) 177件

(イ)訪問指導

・第1子訪問・・・10人

・家庭訪問(フォロー児)・・・(延べ) 17人

(ウ)ケース検討会・・・2回

(エ)健やかネットワーク地区会議・・・3回

(3)精神保健福祉事業

(ア)精神保健福祉相談

・相談及び所内面接・・・来所者(延べ) 119人

・電話相談・・・(延べ) 318件

(イ)精神訪問指導・・・(延べ) 71人

(ウ)精神ケース会議・・・6回

<志摩保健センター>

(1)老人保健事業

(ア)健康手帳の交付 医療対象者分・・・5冊 医療対象者以外分・・・37冊

(イ)健康相談

・定期健康相談・・・72回 来所者(延べ) 374人

・随時相談・・・(延べ) 36人

・電話相談・・・(延べ) 29件

(ウ)健康教育

・集団健康教育

高血圧、脂質異常予防教室(男性クッキング)・・・2回 参加者(延べ) 43人

転倒予防教室(いきいき教室)・・・6回 参加者(延べ) 153人

転倒予防教室(はまゆう大学)・・・1回 参加者 87人

ナイトウォーキング(説明会及び学習会)・・・3回 参加者(延べ) 61人

運動実践教室(ウォーキング・運動)・・・1回 参加者 10人

・個別健康教育(高脂血症改善)・・・参加者(実) 1人

(オリエンテーション:1回、面接:5回、血液検査:4回、支援レター:2回)

(2)母子保健事業

《妊産婦》

- (ア)母子健康手帳の交付・・・44冊
- (イ)妊婦健康相談(母子手帳交付時、転入者含む)・・・(延べ) 50人

《乳幼児》

- (ア)健康相談
 - ・乳幼児健康相談・・・48回 来所者(延べ) 383人
 - ・随時相談・・・(延べ) 42人
 - ・電話相談・・・(延べ) 79件
- (イ)訪問指導
 - ・第1子訪問・・・22人
 - ・家庭訪問(フォロー児)・・・(延べ) 57人
- (ウ)志摩地区ネットワーク会議・・・会議 12回 学習会 1回
- (エ)ケース検討及び調整会議・・・31回

(3)精神保健福祉事業

- (ア)精神保健福祉相談
 - ・相談及び所内面接・・・来所者(延べ) 101人
 - ・電話相談・・・(延べ) 79件
- (イ)精神訪問指導・・・(延べ) 29人
- (ウ)精神ケース会議・・・2回
- (エ)精神障害者デイケア事業・・・12回 参加者(延べ) 40人
- (オ)精神障害者デイケア交流会・・・1回 参加者 3人

<磯部保健センター>

(1)老人保健事業

- (ア)健康手帳の交付 医療対象者分・・・0冊 医療対象者以外分・・・117冊
- (イ)健康相談
 - ・定期健康相談・・・ 44回 参加者(延べ) 332人
 - ・けんしん結果相談・・・3回 参加者(延べ) 1人
 - ・随時相談・・・(延べ) 3人
 - ・電話相談・・・(延べ) 12件
- (ウ)訪問指導・・・(延べ) 3人
- (エ)健康教育
 - 個別健康教育(高脂血症改善)・・・参加者(実) 3人
 - (オリエンテーション:1回、面接:5回、血液検査:4回、支援レター:2回)

(2)母子保健事業

(妊産婦)

- (ア)母子健康手帳の交付・・・60冊
- (イ)妊婦健康相談(母子手帳交付時、転入者含む)・・・(延べ) 24人

《乳幼児》

(ア)健康相談

- ・乳幼児健康相談・・・48回 来所者(延べ) 497人
- ・電話相談・・・(延べ) 2件

(イ)訪問指導

- ・第1子訪問・・・31人
- ・家庭訪問(フォロー児)・・・(延べ) 7人

(ウ)育児教室(ひよこクラブ)・・・4回 参加者(延べ) 92人

- ### (エ)のびのびネットワーク・・・会議 2回 参加者(延べ) 15人
- 講演会 1回 参加者 38人
 - フォロー相談・検討会 5回

(3)精神保健福祉事業

(ア)精神保健福祉相談

- ・相談及び所内面接・・・来所者(延べ) 18人
- ・電話相談・・・(延べ) 5件

(イ)精神訪問指導・・・(延べ) 33人

(ウ)精神ケース会議・・・7回

(エ)精神障害者デイケア事業・・・12回 参加者(延べ) 46人

健康福祉部 福祉事務所

地域福祉課

地域福祉係

1. 社会福祉協議会補助金 65,000,000円

民間の自主的な福祉活動の中心となる社会福祉協議会を支援することにより、地域福祉の充実を図ることを目的として補助金を交付した。

2. 地域福祉推進アドバイザー業務委託料 500,000円

平成19年3月に地域福祉計画書が完成し、平成19年度からは地域福祉推進に係る指導業務を日本福祉大学准教授に委託し、指導を受けた。

平成18年度に策定した地域福祉計画に基づき次の事業を実施した。

- ・地域福祉計画推進協議会 2回
- ・「しま市民活動フェスタ2007」
- ・地域福祉セミナー 3回
- ・夢まちづくり委員会

・ホームヘルパー養成研修(3級課程)

3. 民生児童委員協議会補助金 3,800,000円

地域福祉の推進の担い手として、地域の福祉課題に対する住民の理解を求める活動や地域住民に関わる個別の相談・支援活動、関係機関と連携するネットワーク活動の取組みなど民生委員活動を支援するため、補助金を交付した。

4. 遺族会補助金 1,350,000円

戦没者の英霊に対する慰霊顕彰、その他遺族の生活に必要な指導相談斡旋等、遺族会の活動を支援するため、補助金を交付した。

障害者福祉係

(1) 身体・知的障害者福祉事業

身体障害者手帳所持者

単位:人

1級	2級	3級	4級	5級	6級	合計
697	474	496	551	150	196	2,564

療育手帳所持者

単位:人

A1(最重度)	A2(重度)	B1(中度)	B2(軽度)	合計
36	122	97	56	311

障害者管理システム委託事業 1,147,461円

システム運用保守料、ハード保守料

委託先:(株)松阪電子計算センター

身体障害者・知的障害者相談員設置事業 99,600円

志摩市身体障害者等相談員設置要綱に基づき、障がい者関係団体から推薦を受けた者と委託契約した。

委託料 年額24,900円

相談員数 身体相談員2人 知的相談員2人

障がい者生活支援センター委託事業 14,257,000円

在宅の障がい者が地域で自立した生活が送れるよう支援し、社会参加の促進を図ることを目的とした事業で、総合相談・福祉サービスの利用援助・支援計画の作成(ケアマネジメント)などを行った。

委託先:障がい者生活支援センター

視覚障害者生活訓練事業 750,660円

視覚障がい者の自立支援と社会復帰を促進するため、歩行訓練士の指導により実施した。

委託先:特定非営利活動法人 アイパートナー

特別障害者手当等給付事業 26,254,100円

精神又は身体に重度の障がいがあるため、常時特別な介護が必要な在宅の障がい者に手当を支給した。支給は年4回(5月・8月・11月・2月)

特別障害者手当	月額 26,440円	2月支給対象者 69人
障害児福祉手当	月額 14,380円	2月支給対象者 23人
経過的福祉手当	月額 14,380円	2月支給対象者 3人

高齢者及び障害者住宅改造補助事業 860,946円(3件)

日常生活に著しく支障のある在宅の重度心身障がい者(児)等に対し、居住環境の改善を図り、地域における自立の支援や家族の負担を軽減するため住宅改造整備費用を助成した。

心身障害者(児)福祉給付金支給事業 3,552,000円(444件)

身体障害者手帳1、2級及び療育手帳A所持者で市民税非課税世帯の者に福祉給付金を支給した。(年額8,000円 7月支給)

身体障害者ガソリン費助成事業 6,232,696円(年度未認定者 328人)

身体障がい者(身体障害者手帳1～3級)が所有する自動車の運行に伴うガソリン費のうち、毎月1リットルあたり60円、50リットルを限度(月3,000円)に助成した。

障害者地域生活支援事業 20,542,045円

コミュニケーション支援事業

聴覚、言語機能、音声機能、視覚等の障がいによって、意思疎通を図ることに支障がある者に手話通訳者・要約筆記者の派遣依頼等の支援を行った。

委託先:三重県聴覚障害者協会

日常生活用具給付事業

日常生活の便宜を図るため、在宅の重度障がい者(児)に、日常生活や介護が容易になるような用具を給付した。

障がい者(418件) 障がい児(37件) 住宅改修(2件)

移動支援事業(実利用人数 453人)

屋外で移動が困難な障がい者の社会生活上必要不可欠な外出に対して、利便性を考慮し状況に応じたサービスを提供した。

委託先:志摩市社会福祉協議会 他 8事業所

地域活動支援センター事業

障がい者等に創作的活動又は生産活動の機会を提供し、社会参加と交流の促進及び日常生活に必要な便宜を図った。

年間実利用人数 237人、延べ利用人数1,093人

委託先 型 志摩市社会福祉協議会(阿児デイサービスセンター)

型 広域行政組合(志摩身体障害者福祉センター)

型 広域行政組合(志摩療育センター)

型 三重済美学院(ルーベンハイム志摩)(済美寮)

知的障害者職親委託事業

就職に必要な素地を身につけ、職場への定着を高めるため、一定期間事業経営者のもとで生活指導・技能取得訓練等を受けた。

職親委託契約先:志摩市阿児町 (有)サンコウ

社会参加促進事業

身体障害者自動車改造助成事業 200,000円(2件)

重度心身障がい者が就労等に伴い、自動車を取得する場合の改造に要する費用を助成した。

身体障害者自動車操作訓練助成事業 100,000円(1件)

1から4級までの身体障害者手帳所持者に対し、自動車運転免許取得費用を助成した。(助成額は取得に要した費用の3分の2以内、100,000円が限度)

志摩市心身障害児(者)保護者会補助金 612,000円

志摩市身体障害者福祉連合会補助金 932,000円

第67回三重県視覚障害者福祉大会補助金 200,000円

(2) 障害者施策推進事業

障害者施策推進協議会

障害者に関する施策の総合的かつ計画的な推進について必要な事項を調査審議した。

・第1回障害者施策推進協議会(7月20日開催)

平成19年度事業計画(案)について

専門部会(身体・知的、精神、自立支援協議会)について

・第2回障害者施策推進協議会及び第1回専門部会(10月17日開催)

- 志摩市の障がい者相談支援委託業務について
- 最近の障がい者施策の状況について
- ・第3回障害者施策推進協議会及び第2回専門部会(1月30日開催)
- 専門部会からの報告について
- 自立支援協議会の運営について

(3) 障害者自立支援事業

障害者介護給付費認定審査会

障害者自立支援法に定める、介護給付費等の支給に関する障害程度区分の審査及び判定を行った。

審査会 毎月1回開催

19年度判定件数 75件

障害者支援管理システム改修等委託事業 2,495,845円

介護給付費等請求事務処理をするため、現行のシステムを改修し事務の効率化を図った。

委託先:(株)松阪電子計算センター

介護給付費(介護の支援を受ける福祉サービス) 399,937,700円

居宅介護(ホームヘルプ)

療養介護

生活介護

児童デイサービス

短期入所(ショートステイ)

共同生活介護(ケアホーム)

施設入所支援

身体障害者施設訓練事業

知的障害者施設訓練事業

知的障害者通所授産施設事業

知的障害者生活ホーム入居補助事業

訓練等給付費(訓練等の支援を受ける福祉サービス) 4,646,136円

自立訓練(機能訓練・生活訓練)

共同生活援助(グループホーム)

障害者通所等支援事業 3,180,960円(支給決定者 131人)

通所で訓練等のサービスを受ける障がい者(児)に対して、利用者負担にかかる所得階層が低所得1、低所得2、所得割10万円未満世帯の利用者負担を軽減した。

高額障害福祉サービス費 151,263円(37件)

同一世帯に障害福祉サービスを利用する者が複数いる場合等で、利用者負担合算額が算定基準を超えた分について高額障害福祉サービス費を支給した。

自立支援医療給付事業(更生医療費) 12,225,667円

身体障がい者が更生のために必要とする医療を給付した。

国保:92件

社保:75件(内生活保護26件)

身体障害者(児)補装具給付事業 7,016,079円

身体障害者(児)の失われた身体部位、損なわれた身体機能を補完又は代替するのに必要な補装具の交付、修理を決定し給付した。

交付:障がい者(57件) 障がい児(11件)

修理:障がい者(37件) 障がい児(12件)

障がい者共同生活介護等支援事業(利用者数 知的3人、精神4人)

三重県障害者グループホーム等移行支援モデル事業として、県内のグループホーム及びケアホームに入居している低所得1又は低所得2である障がい者の家賃を補助し、地域での自立生活を支援するとともに地域生活移行を推進した。

事業運営円滑化事業 8,265,619円

障害者自立支援法の円滑な実施のために緊急に必要とされる事業に対する補助。事業所への激変緩和措置として、報酬の日払い方式の導入に伴う従前額保障を80%から90%まで引き上げ、事業所の安定的な運営を確保した。

通所授産施設 「えりはら」「はばたき」「あいのその」

通所サービス利用促進事業 10,014,660円

障害者自立支援法の円滑な実施のために緊急に必要とされる事業に対する補助。

事業所への激変緩和措置として、日中活動サービス・通所施設における送迎サービスにかかる経費の一部を助成した。

(利用者1名につき片道540円、1事業所あたり年額3,000,000円以内)

保護支援係

生活保護の動向は、景気の低迷や、この地域での求人が低調な状況で推移していることから、被保護世帯は19年度末には357世帯、542名であった。昨年度対比では4.1%の増加となっている。また、高齢者世帯が全体の44.3%、傷病障害者世帯が41.2%と、全体の90%近い被保護世帯がこれらの世帯となっている。

最低生活を保障する日本国憲法(第25条)の理念に基づき、各被保護世帯の困窮の程度に応じて最低限度の生活が維持できるよう生活扶助をはじめとする各種の扶助を実施するとともに、その被保護世帯の自立を助長することを目的に、訪問調査を行い、その世帯のニーズ、阻害要因を把握し、自立に向けての指導、相談、援助等を行った。平成19年度中に支払われた扶助費総額は670,137,588円で、その内生活扶助をはじめとする保護費は315,582,654円、救護施設に入所者の保護施設事務費及び委託事務費は11,905,529円、医療扶助費は342,649,405円であった。市が支弁した保護費と保護施設事務費及び委託事務費の4分の3については生活保護法第75条により、国の負担を受けた。

住所不定者や住所が明らかでない被保護者の保護費、保護施設事務費及び委託事務費は、市負担分(4分の1)を生活保護法第73条に基づき県の負担を受けた。生活保護の適正な運営を確保する為、生活保護関係職員の資質向上を目的とした研修への参加等により、生活保護の適正実施に努めた。そして、一部、これら事業の実施にあたり国の補助を受けた。

これら国庫負担金、国庫補助金、県負担金の額は次のとおり

・ 生活保護費国庫負担金	503,699,000円
・ 生活保護費県負担金	2,221,000円
・ 生活保護適正実施推進事業国庫補助金	372,000円

ふくし総合支援センター

高齢者福祉係

老人福祉に関する事務

・老人ホーム入所申請受付、相談、調査	
老人ホーム入所者訪問面接調査	
・志摩広域行政組合事業に関する事務	
・老人クラブに関する事務	
・シルバー人材センターに関する事務	
・老人ホーム入所措置費	
老人ホーム(平成20年3月末現在71人)	137,850,868円
・志摩市老人ホーム入所判定委員会事務(開催回数8回)	
・志摩市長寿者褒賞(100歳7人・87歳266人)	3,360,000円
・外出支援サービス事業(延べ利用者数741人)	738,500円
・生きがい活動支援通所事業(延べ利用者数914人)	2,963,000円
・緊急通報体制整備事業(新規設置数12台)	74,340円

- ・長寿社会づくりソフト事業
悠々生活推進事業(スポーツ交流大会を実施) 704,289円
- ・老人保健事業(高齢者虐待防止に関する調査研究事業) 8,133,922円

子ども総合支援係

児童家庭相談援助関係

【家庭児童相談室】

- ・子どもについての家族や関係機関からの相談に対応した。
相談件数: 321件
- ・発達(知能)検査に基づく心理診断ができる相談事業を定期的を実施した。
定期児童相談: 12回(志摩療育センターで実施。)
発達相談: 24回(志摩療育センターで実施。)
巡回児童相談: 8回(浜島・大王・志摩・磯部地区保健センターで、各2回実施。)

【児童虐待防止】

- ・児童虐待に対応した。
通告(相談)件数: 43件
- ・要保護児童対策調整機関業務を行った。
子ども家庭支援ネットワーク(要保護児童対策地域協議会)を運営し、被虐待児やその保護者等への支援について協議した。
代表者会議: 3回(主に、「子ども虐待防止マニュアル」について協議した。)
実務者会議: 9回(主に、要保護ケースの進行管理等を行った。)
個別ケース検討会議: 34回(主に、個々のケースごとに支援方法を協議した。)

発達障がい者支援関係

- ・保育士を三重県小児心療センターあすなる学園に派遣し、研修した。
- ・保育所等から要請に対応し、支援を行った。
- ・老人ホーム入所申請受付、相談、調査

女性相談関係

- ・ドメスティック・バイオレンスに関する相談など、女性からの相談に対応した。
女性相談員対応回数: 225回
ドメスティック・バイオレンス相談件数: 17件

母子自立支援関係

- ・母子家庭等からの相談に対応した。

母子自立支援員対応回数： 230回

児童福祉課

保育所関係

平成19年度の保育所入所児童数は、19施設で定員児童数1,580人、月平均児童数は1,005人で、定員に対する充足率は63.6%であった。

保育所入所児童保護者負担金(保育料)については、国の保育所徴収基準額表に基づき7階層(13段階)に細分化し保育料の算定を行った。

保育料の現年度調定額は、保育料金169,422,560円・延長保育料金4,397,100円・緊急延長保育料金830,500円の合計174,650,160円、また過年度分調定額は、2,507,200円でうち190,000円の不納欠損処分を行い合計調定額は177,157,360円であった。

・各種補助金事業については、以下のとおりであった。

延長保育促進事業補助金	258,000円
障害児保育事業費補助金	1,162,000円
産休代替保育士等補助金	594,000円
低年齢児保育推進事業補助金	517,000円
保育所地域活動事業費補助金	20,000円

・工事請負については、以下のとおりであった。

神明保育所耐震工事	9,993,900円
和具保育所調理室設置工事	5,071,500円
甲賀保育所屋根防水工事	1,260,000円

・志摩市保育所・幼稚園等の運営のあり方について検討し、保育行政並びに幼児教育の充実に資するため「志摩市保育所・幼稚園等のあり方検討会」を置き、以下のとおり開催した。

志摩市保育所・幼稚園等のあり方検討会	3回開催
あり方検討会組織検討部会	9回開催
あり方検討会保育教育内容検討部会	9回開催
組織検討部会・保育教育内容検討部会合同会議	1回開催

児童館・放課後児童クラブ関係

阿児地区児童館

児童館の使用児童数は延べ1,694人で、内訳は鵜方児童館673人、神明児童館678人、国府児童館343人となり、保護者からの児童館使用負担金は17,527,900円となった。

保護者からの利用負担金は3,276,100円、放課後児童健全育成事業費補助金については、両クラブ共に利用者の増員により国庫補助事業の対象となった。

迫間児童館

指導的事業

魅力ある教室、行事等を工夫し、各事業の中で集団・個別指導を通じて子どもの健全育成を図り以下の事業を実施した。

- ・新入生記念植樹会・・・新小学1年生を対象に桜の木を植樹した。
- ・新入生歓迎会・・・4月に新小・中学1年生を対象に実施した。
- ・クラブ活動・・・太鼓クラブ(毎週水曜日 月3～4回)
- ・自転車教室・・・夏休み前に小学生対象に自転車の乗り方を指導した。
- ・児童館遠足・・・夏休みに小学生対象に実施した。
- ・大掃除・お楽しみ会・・・冬休みに小・中学生を対象に施設の大掃除とレクリエーションを実施した。

愛育会との連携

愛育会の組織をより充実し、育成助長を図った。

- ・小・中愛育会活動に協力 保護者会等への参加
- ・愛育会役員会(定例会 月1～2回) 保護者会学期毎に1回

相談活動等

児童生徒及び保護者等から進路相談や生活相談などを随時受けながら、問題解決のために関係諸機関と連携を密にして、その案件の対応を図りました。

運営委員会の開催

児童館の運営については、委員の方に広く意見を求め、効果的な事業活動を展開するために審議を行いました。

・開催日・出席者 第1回 5/23 8人 第2回 11/27 9人

備品購入

刈払機1機 29,000円

施設来館者数

・来館者総数 7,618人 相談者数 53人

放課後児童クラブ

大王・志摩放課後児童クラブは、平成19年6月1日から開設し、使用児童数は大王が、延べ13人、志摩の使用児童数は延べ43人で保護者からの利用負担金は、391,500円であった。

放課後児童クラブ等活動事業費補助金については、両クラブ共に基準人数(月5名)に達しなかったため、対象外となった。

放課後児童対策事業費補助金については2児童館(鵜方・神明)に加えて、放課後児童クラブ(磯部・浜島)が対象となったため、合計5,503,000円となった。

磯部・浜島放課後児童クラブ(志摩市社会福祉協議会へ運営委託)

磯部放課後児童クラブは、平成17年7月21日から開設しており、使用児童数は延べ167人であった。

浜島放課後児童クラブは、平成18年6月1日に開設しており、使用児童数は延べ172人であった。

子育て支援関係

・磯部子育て支援センター各事業参加者(延べ人数)

子育てサロン	1,793人	園庭解放	919人	親子ふれあい広場	503人
遊びの広場	1,153人	ひよこクラブ	451人	まめまめクラブ	70人

・志摩子育て支援センター(延べ人数)

子育てサロン	4,868人	園庭開放	3,805人	親子ふれあい広場	653人
--------	--------	------	--------	----------	------

・地域子育て支援センター事業補助金については、6,659,000円

(磯部4,942,000円、志摩1,717,000円)となった。

次世代育成支援関係

志摩市次世代育成支援対策地域協議会の中で、合併前に着手した次世代育成支援行動計画の進捗管理を行った。また、協議会を1回開催し、委員の出席は15名であった。

児童福祉施設入所措置関係

母子生活支援施設入所	3世帯(7人)
助産施設入所	2人(22日)
子育て短期支援事業利用	13人(120日)

ファミリーサポートセンター関係

育児の援助を依頼する人と提供する人が会員となって、会員同士で子育てを助け合う事業

会員数 117名(内訳:依頼会員64名、提供会員35名、両会員18名)

活動件数 214件

(保護者の就労 32件、保護者の外出27件、子供の習い事 86件、
保育所等への迎え及びその後の預かり24件、保護者の臨時的就労14件
保育所等への迎え12件、子どもが病気の時の援助 8件、保育所等休み11件)

児童手当

児童を養育している人に手当てを支給することにより家庭における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健全な育成及び資質の向上に資することを目的とし、児童手当を次のとおり支払った。

満3歳未満分の被用者(厚生年金等加入者)・非被用者(国民年金加入者)・特例給付(所得制限により児童手当を受けられないサラリーマン等の特例)の受給者のべ2,787人に104,940,000円を支払った。

また、満3歳以上小学校修了前の児童を対象として支払う児童手当については、被用者・非被用者受給者のべ8,343人に271,645,000円を支払った。

児童扶養手当

父母の離婚などにより、父親と生計を同じくしていない児童を養育されている母子家庭の生活の安定と自立を助け、児童の福祉の増進を図ることを目的に児童扶養手当を次のとおり支払った。

全額支給	延べ	3,993人	166,587,960円
所得制限による一部支給	延べ	3,195人	100,350,240円
第2子加算	延べ	3,231人	16,155,000円
第3子以降加算	延べ	655人	1,965,000円
合計受給者	延べ	11,074人	285,058,200円

特別児童扶養手当

身体や精神に障がいのある20歳未満の児童の福祉増進を図ることを目的とした特別児童扶養手当の支払事務を行った。

所得状況届	72件	住所変更届	3件	証書亡失届	2件
再認定請求書	17件	新規認定請求書	8件		
資格喪失届	6件	支払金融機関変更届	5件		

母子自立支援

母子自立支援員1名を配置し、母子及び寡婦福祉資金貸付に関する相談事例に対応した。

貸付申込者 1人 2件 (修学資金、生活資金)

母子家庭等卒業祝金支給

母子家庭等の児童に対し、小学校及び中学校を卒業する際に祝金を支給することにより、児童の卒業をお祝いするとともに、母子家庭等の生活の安定と自立を助け、児童の健全育成・福祉の増進を図ることを目的に、児童1人につき5,000円を支払った。

小学校卒業	83人	415,000円
中学校卒業	72人	360,000円
合計	155人	775,000円